

霊水と共に

発行 法華寺
No.27
2024.9
河南町加納 247
☎0721933023

まいてら法華寺

寄り添いの寺 法華寺

施餓鬼忌法要の報告です

八月十五日、今年の施餓鬼法要は、たくさんのご参詣をいただき、誠にありがとうございます。本堂に各家の塔婆を立て、組寺のお上人方とともに読経供養いたしました。

日蓮大聖人は、『卒塔婆に触れた風を受けただけで、山の獣たち、海に沈む魚たちも救われるのであるから、ましてや、供養を受けた亡き身内・ご先祖のみならず、塔婆を立てた施主も救われることは必定である』と述べられています。

六座満席、猛暑の夏でしたが、少しでも山寺の涼風を感じていただいたように思います。

当日参拝できずにも関わらず、お塔婆申し込みをいただいた檀信徒様にも御礼申し上げます。



大黒天神・蔵王権現 修復完成

一昨年より取り組み始めた「三十番神堂」の各ご尊像修復事業ですが、最後に残った大黒天神・蔵王権現像が、九月三日、修復を終えて當山にお戻りになりました。

両尊像は、これまでは、番神堂の左右の袋屏の奥に鎮座され、参拝の方も、そのお姿を目にすることは殆どなかったのですが、大黒天神は三百七十五年ぶりに、蔵王権現は、おそらくもっと古い年代から、甦られました。特に蔵王権現像は損傷はひどく、修理に時間がかかり、予定していたお施餓鬼法要でのご開帳ができませんでした。

蔵王権現
災厄払い
所願成就

大黒天神
金運・出世
良縁・学問

両尊の、ご威光は強く、参拝者を圧倒します。今後はこれまで以上に法華寺檀信徒の皆様をご守護いたしたいと思います。お待ちしております。

十月二十七日 御会式法要です

宗祖日蓮大聖人は、建長五年(一一五三年)四月二十八日、「千葉、清澄山から朝日に向かって「南無妙法蓮華経」と大音声を発し、宗旨を建立されました。後、弘安五年(一一八二年)十月十三日に亡くなられるまで、数々の法難を受けつつ、お命を投げうちながら布教に勤められました。皆様と宗祖、日蓮大聖人の御遺徳を偲び、又、各家の供養をお勤めしたいと思います。

その日蓮大聖人は、信者に、「鬼子母神」「大黒天神」を祀るように勧めておられました。御会式法要では、本堂にて「大黒天神」、蔵王権現、両ご尊像の御開帳をいたします。また番神堂では、「鬼子母神」を含めた各ご尊像をご開帳いたします。是非ご参拝ください。

御会式は、午前十一時、午後一時の二部制です。

例年お越しの方には、往復ハガキでご希望の間をお尋ねいたします。(新たに参加ご希望の方は、電話でお尋ねください)

